



2025年9月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月14日

東

上場会社名 Green Earth Institute株式会社 上場取引所
コード番号 9212 URL <https://gei.co.jp/ja/>
代表者（役職名）代表取締役CEO（氏名）伊原 智人
問合せ先責任者（役職名）取締役CFO（氏名）浦田 隆治 (TEL) 03-5315-0531
定時株主総会開催予定日 2025年12月23日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年12月23日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期の業績（2024年10月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年9月期	1,075	7.3	△4	—	156	—	127	—
2024年9月期	1,002	11.7	△148	—	△138	—	△133	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2025年9月期	11.27	10.81	6.2	5.5	△0.4
2024年9月期	△11.87	—	△6.6	△5.1	△14.8

（参考）持分法投資損益 2025年9月期 一百万円 2024年9月期 一百万円

注. 2024年9月期における潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年9月期	2,967	2,106	71.0	185.46
2024年9月期	2,736	1,975	72.2	174.91

（参考）自己資本 2025年9月期 2,105百万円 2024年9月期 1,974百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年9月期	△49	△156	△9	2,059
2024年9月期	3	△81	△48	2,274

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2026年9月期の業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	101	△57.7	△315	—	△315	—	△317	—	△27.92
通期	1,035	△3.7	△356	—	175	12.1	146	15.3	12.92

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期	11,355,100 株	2024年9月期	11,290,900 株
② 期末自己株式数	2025年9月期	36 株	2024年9月期	36 株
③ 期中平均株式数	2025年9月期	11,297,901 株	2024年9月期	11,280,257 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況 （4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(持分法損益等の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(1株当たり情報の注記)	9
(重要な後発事象の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

日本の経済においては、物価の上昇による影響があるものの、インバウンド需要の増加や雇用・所得環境の改善により、景気は緩やかな回復傾向にあります。一方、米国の新政権における今後の政策変更への懸念、長期化するロシア・ウクライナ情勢及び中東情勢等の背景から、原材料価格やエネルギー価格の上昇等、依然として先行き不透明な状況が続くことが見込まれます。

このような状況下であるものの、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下「NEDO」という。)より受託したバイオフィアウンドリ事業やグリーンイノベーション基金事業等、また、同機構より交付を受けているバイオものづくり革命推進事業や、国内外のパートナー企業等との大型のパイプラインを含む研究開発を進捗させております。

なお、ロシア・ウクライナ情勢や中東情勢については、海外企業との取引において為替相場の影響は受けるものの、当社の現在の事業展開地域に当該各国は含まれておらず、現段階において、当該情勢による直接的な事業影響はございません。

以上の結果、当事業年度は売上高1,075,413千円(前年同期比7.3%増)、営業損失4,202千円(前期営業損失148,793千円)、経常利益156,990千円(前期経常損失138,087千円)となりました。当期純利益については、127,324千円(前期当期純損失133,881千円)となりました。

なお、当社はバイオものづくり事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

- 注1. バイオフィアウンドリ事業は、日本における大学や企業等が保有する、バイオものづくり技術の商用化のための生産プロセスの開発、実証等を実施するプラットフォーム(バイオフィアウンドリ拠点)を構築、運用する事業(採択時において6年間、事業総額54億円(税込))であります。
2. グリーンイノベーション基金事業は、日本のカーボンニュートラル実現に向けて創設された基金(総額2.7兆円、そのうちバイオプロジェクト1,800億円)であり、研究開発・実証から社会実装までを見据え、企業等の取組みに対して10年間の継続的な支援を行う事業であります。
3. バイオものづくり革命推進事業は、未利用資源の収集・原料化、微生物等の改変技術、生産・分離・精製・加工技術、社会実装に必要な制度や標準化等のバイオものづくりのバリューチェーン構築に必要な技術開発及び実証の一貫した支援(総額3,000億円)を行う事業(第1回:採択時において8年間、事業総額約24億円、補助金総額約14億円、第2回:採択時において6年間、事業総額約5.5億円、補助金総額約3.0億円)であります。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

当事業年度末における流動資産は2,736,804千円となり、前事業年度末に比べ100,742千円増加いたしました。これは主に売掛金が202,723千円、売上高に紐づく研究開発活動にかかる仕掛品が57,434千円、バイオフィアウンドリ事業における設備投資のうちNEDOの所有分による立替金が52,387千円増加した一方、現金及び預金が214,708千円減少したことによるものであります。固定資産は230,687千円となり、前事業年度末に比べ130,459千円増加いたしました。これは主に機械及び装置が103,739千円、工具、器具及び備品が13,624千円増加したことによるものであります。この結果、総資産は2,967,492千円となり、前事業年度末に比べ231,201千円増加いたしました。

② 負債

当事業年度末における流動負債は819,324千円となり、前事業年度末に比べ210,769千円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が100,100千円、バイオフィアウンドリ事業における設備投資等費用の概算額の入金による仮受金が51,975千円、未払金が41,180千円増加したことによるものであります。固定負債は42,050千円となり、前事業年度末に比べ110,563千円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金への振替により長期借入金が108,040千円、リース資産の賃借による長期リース債務が2,617千円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は861,375千円となり、前事業年度末に比べ100,205千円増加いたしました。

③ 純資産

当事業年度末における純資産合計は2,106,117千円となり、前事業年度末に比べ130,996千円増加いたしました。これは新株予約権行使により資本金が1,836千円、資本準備金が1,836千円、利益剰余金が127,324千円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は71.0%(前事業年度末は72.2%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下、本項目において「資金」という。)については、前事業年度末より214,708千円減少し、2,059,541千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要

因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、支出した資金は49,391千円(前事業年度においては3,378千円の獲得)となりました。これは主に税引前当期純利益156,978千円、バイオファウンドリ事業における設備投資等費用の概算払いによる仮受金の増加額51,975千円、及び未払金の増加額37,546千円の増加要因があったものの、主に売掛金の発生に伴う売上債権の増加額202,723千円、研究開発活動にかかる棚卸資産の増加額57,642千円の減少要因によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、支出した資金は156,002千円(前事業年度においては81,333千円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出148,672千円の減少要因によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、支出した資金は9,314千円(前事業年度においては48,855千円の支出)となりました。これは主に新株予約権行使による株式の発行による収入3,672千円の増加要因があったものの、長期借入金の返済による支出7,940千円、及びリース債務の返済による支出5,014千円の減少要因によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、経済活動の正常化による景気を持ち直しや回復への期待が見込まれるものの、国際情勢の不安定化や物価の上昇、及び世界的なインフレ等のリスクが内在しており、先行きは依然として不透明な状況が続くと想定されます。

一方、日本政府は、エネルギー安全保障、経済安全保障を重視する方針を示しており、当社が取り組むバイオ燃料を中心とした国産バイオ製品のプロジェクトの社会実装を推進することが期待されています。このような状況下、2026年9月期につきましては、2022年9月期においてNEDOより受託したバイオファウンドリ事業や、2023年度においてNEDOより受託したグリーンイノベーション基金事業、2024年度においてNEDOより補助金の交付が決定されたバイオものづくり革命推進事業(第1回及び第2回)、等の国策案件の着実な遂行のため、関連するリソースを集中的に投下することにより、KPIである売上高及び営業外収入(バイオものづくり事業に関連する収益のみ)の2018年9月期からの9年間連続の増収及び2025年9月期より継続した当期純利益の黒字化を目指してまいります。また、国内外のパートナー企業との民間案件につきましては、テクノロジーパッケージ等、既に契約済、又はそれに準ずる案件のみを業績予想に織り込むことで、保守的で蓋然性の高い計画を策定しております。

このような見通しのもと、来期は売上高1,035,661千円、営業損失356,723千円、経常利益175,941千円、当期純利益146,750千円を達成したいと考えております。

注1. バイオものづくり革命推進事業(第1回)は、「製紙産業素材を活用したバイオ燃料・樹脂原料等の商用生産」に向け、未利用資源 パルプ・古紙パルプ・ペーパースラッジを用いて糖化・発酵法にてエタノール・樹脂原料・アミノ酸の研究開発、実証から社会実装までを支援する事業であります。

2. バイオものづくり革命推進事業(第2回)は、「純国産木材バイオものづくりによる世界最高クラスの低炭素バイオエタノール生産プロセスの開発」を通して国産材を活用した、純国産セルロース系バイオエタノール商業プラントを実現するための研究開発、実証から社会実装までを支援する事業であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内同業他社との比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当事業年度 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,274,249	2,059,541
売掛金	195,512	398,235
仕掛品	147,815	205,250
貯蔵品	1,606	1,814
前渡金	4,340	2,220
前払費用	4,681	9,485
立替金	7,855	60,243
その他	—	14
流動資産合計	2,636,062	2,736,804
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,456	6,275
建物附属設備（純額）	1,486	1,378
機械及び装置（純額）	58,021	161,760
工具、器具及び備品（純額）	7,644	21,269
リース資産（純額）	9,590	7,787
建設仮勘定	16,143	24,609
有形固定資産合計	99,343	223,081
無形固定資産		
ソフトウェア	885	2,606
無形固定資産合計	885	2,606
投資その他の資産		
出資金	—	5,000
投資その他の資産合計	—	5,000
固定資産合計	100,228	230,687
資産合計	2,736,290	2,967,492

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当事業年度 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	7,940	108,040
リース債務	4,869	5,622
未払金	109,752	150,933
未払法人税等	11,423	36,750
未払消費税等	13,722	3,364
仮受金	456,718	508,694
その他	4,128	5,919
流動負債合計	608,555	819,324
固定負債		
長期借入金	138,740	30,700
リース債務	5,027	2,410
繰延税金負債	1,977	1,976
資産除去債務	6,868	6,963
固定負債合計	152,613	42,050
負債合計	761,169	861,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,600,529	1,602,365
資本剰余金		
資本準備金	1,590,529	1,592,365
資本剰余金合計	1,590,529	1,592,365
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,216,089	△1,088,765
利益剰余金合計	△1,216,089	△1,088,765
自己株式	△28	△28
株主資本合計	1,974,941	2,105,937
新株予約権	180	180
純資産合計	1,975,121	2,106,117
負債純資産合計	2,736,290	2,967,492

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,002,540	1,075,413
売上原価	560,695	432,929
売上総利益	441,844	642,483
販売費及び一般管理費	590,638	646,686
営業損失(△)	△148,793	△4,202
営業外収益		
受取利息	228	2,978
為替差益	20	434
補助金収入	12,047	158,043
講演料等収入	240	1,168
その他	212	36
営業外収益合計	12,749	162,660
営業外費用		
支払利息	2,010	1,435
株式交付費	31	31
営業外費用合計	2,042	1,466
経常利益又は経常損失(△)	△138,087	156,990
特別利益		
新株予約権戻入益	6,788	—
特別利益合計	6,788	—
特別損失		
固定資産除却損	328	0
固定資産売却損	—	12
特別損失合計	328	12
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△131,626	156,978
法人税、住民税及び事業税	2,310	29,654
法人税等調整額	△55	△0
法人税等合計	2,254	29,654
当期純利益又は当期純損失(△)	△133,881	127,324

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本							新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計				
				繰越利益剰余金					
当期首残高	1,600,178	1,590,178	1,590,178	△1,082,208	△1,082,208	△28	2,108,120	2,368	2,110,488
当期変動額									
新株の発行	351	351	351				702		702
当期純損失（△）				△133,881	△133,881		△133,881		△133,881
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								△2,188	△2,188
当期変動額合計	351	351	351	△133,881	△133,881	—	△133,179	△2,188	△135,367
当期末残高	1,600,529	1,590,529	1,590,529	△1,216,089	△1,216,089	△28	1,974,941	180	1,975,121

当事業年度(自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本							新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計				
				繰越利益剰余金					
当期首残高	1, 600, 529	1, 590, 529	1, 590, 529	△1, 216, 089	△1, 216, 089	△28	1, 974, 941	180	1, 975, 121
当期変動額									
新株の発行	1, 836	1, 836	1, 836				3, 672		3, 672
当期純利益				127, 324	127, 324		127, 324		127, 324
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	1, 836	1, 836	1, 836	127, 324	127, 324	—	130, 996	—	130, 996
当期末残高	1, 602, 365	1, 592, 365	1, 592, 365	△1, 088, 765	△1, 088, 765	△28	2, 105, 937	180	2, 106, 117

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△131,626	156,978
減価償却費	14,667	32,316
株式報酬費用	4,600	—
新株予約権戻入益	△6,788	—
固定資産除却損	328	0
固定資産売却損益 (△は益)	—	12
受取利息及び受取配当金	△228	△2,978
補助金収入	△12,047	△158,043
支払利息	2,010	1,435
株式交付費	31	31
売上債権の増減額 (△は増加)	△195,512	△202,723
棚卸資産の増減額 (△は増加)	50,881	△57,642
立替金の増減額 (△は増加)	18,870	△52,387
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	360	△2,698
未払金の増減額 (△は減少)	41,149	37,546
未払又は未収消費税等の増減額	△9,219	△10,358
仮受金の増減額 (△は減少)	221,768	51,975
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△3,970	5,579
その他	△111	94
小計	△4,835	△200,861
利息及び配当金の受取額	228	2,978
補助金の受取額	12,047	158,043
利息の支払額	△2,010	△1,435
法人税等の支払額	△2,051	△8,115
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,378	△49,391
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△80,004	△148,672
無形固定資産の取得による支出	△1,053	△2,318
出資金の払込による支出	—	△5,000
その他	△275	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,333	△156,002
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△44,810	△7,940
リース債務の返済による支出	△4,715	△5,014
株式の発行による収入	702	3,672
その他	△31	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48,855	△9,314
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△126,810	△214,708
現金及び現金同等物の期首残高	2,401,060	2,274,249
現金及び現金同等物の期末残高	2,274,249	2,059,541

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等の注記)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

前事業年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

当社はバイオものづくり事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当事業年度(自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

当社はバイオものづくり事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報の注記)

	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり純資産額	174.91円	185.46円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△11.87円	11.27円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	10.81円

注1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前事業年度 (2024年9月30日)	当事業年度 (2025年9月30日)
純資産の部の合計額(千円)	1,975,121	2,106,117
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	180	180
(うち新株予約権(千円))	(180)	(180)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,974,941	2,105,937
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	11,290,864	11,355,064

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△133,881	127,324
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△133,881	127,324

普通株式の期中平均株式数(株)	11,280,257	11,297,901
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	477,687
(うち、新株予約権(株))	—	(477,687)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権4種類(新株予約権の数1,818個)	—

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。